

市の財政状況を示す指標 健全化判断比率等を公表します

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、健全化判断比率等の指標を公表します。各指標の数値と主な内容は表1 表2のとおりです。前年度に続き、健全化判断比率のすべての指標および資金不足比率は、国の定める基準を下回っており、健全財政を維持しています。

健全化判断比率の4つの指標(実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率)のうち、1つでも早期健全化基準を超えると「早期健全化団体」、財政再生基準を超えると「財政再生団体」になり、それぞれ財政健全化計画、財政再生計画を策定し、早急に財政改善に取り組まなければなりません。公営企業会計については、資金不足比率が経営健全化基準を上回った場合は、経営健全化計画を策定しなければなりません。

表1 健全化判断比率

指標の名称	指標の概要	越谷市の数値	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	一般会計などの赤字額が、標準的な収入に対して、どのくらいの割合になるかを指標化したものです	赤字なし	11.25	20.00
連結実質赤字比率	市のすべての会計を合算した全体の赤字額が、標準的な収入に対して、どのくらいの割合になるかを指標化したものです	赤字なし	16.25	30.00
実質公債費比率	市の地方債(借入金)の返済額およびこれに準じる経費の額が、標準的な収入に対して、どのくらいの割合になるかを指標化したものです。早期健全化基準25%を大きく下回っており、健全です	6.7	25.0	35.0
将来負担比率	一般会計などの地方債残高や将来支払う可能性がある負担など現在抱えている負債が、標準的な収入に対して、どのくらいの割合になるかを指標化したものです。早期健全化基準の350%を大きく下回っており、健全です	12.9	350.0	

*黒字の場合は「赤字なし」としていますが、実質赤字比率は▲17.36%、連結実質赤字比率は▲23.64%となっています

表2 資金不足比率 (単位：%)

(一般会計などに属さない公営企業会計における資金の不足額が、事業の規模に対して、どのくらいの割合になるかを示す指標)

特別会計等の名称	東越谷土地区画整理事業	七左第一土地区画整理事業	病院事業	公共下水道事業
越谷市の数値	資金不足なし	資金不足なし	資金不足なし	資金不足なし
経営健全化基準	20.0	20.0	20.0	20.0

*資金剰余の場合は「資金不足なし」としていますが、東越谷土地区画整理事業は▲251万8,020.0%、七左第一土地区画整理事業は▲1,318万8,600.0%、病院事業は▲10.4%、公共下水道事業は▲17.8%となっています

令和3年度の主な事業

(令和3年度の事業別決算額であり、1万円未満は適宜四捨五入)

以下は第5次総合振興計画の施策の大綱。◎は新規事業(既存事業に新規事業を加えた事業も含む)です。前年度からの繰越事業を含みます。

大綱 1 多様な人が交流し、参加と協働により発展するまちづくり

- ・自治会振興事業 9,743万円
- ・本庁舎建設事業 5億98万円

大綱 2 みんなが健康で共生して住み続けられるまちづくり

- ・がん検診等事業 5億3,288万円
- ・感染症対策事業 6億1,504万円
- ◎病児保育事業 3,027万円
- ・こども医療給付費 13億4,384万円
- ◎子どもの学習・生活支援事業 2,100万円
- ・生活保護扶助費 74億3,427万円
- ・介護保険会計繰出金 35億9,987万円
- ・国民健康保険会計繰出金 25億6,123万円

大綱 3 都市と自然が調和した集約と連携によるまちづくり

- ・南越谷駅・新越谷駅周辺地域にぎわい創出事業 4億1,937万円
 - ・道路の整備(越谷吉川線、川柳大成町線、一般市道等) 9億9,579万円
 - ◎公共交通事業 6,704万円
 - ・身近な公園の整備 8億3,843万円
 - ◎まるごとまちごとハザードマップ事業 272万円
- 日常時から水防災への関心を高め、市民の皆さんの主体的な避難行動を促すため、大規模な洪水時の浸水の深さなどの標識を設置しました。

大綱 4 持続可能で災害に強い安全・安心なまちづくり

- ・再生可能エネルギー推進事業 980万円
- ・自主防災組織育成事業 1,370万円
- ◎災害予防対策事業 1億2,257万円
- ◎消防署所整備事業 595万円

大綱 5 魅力あふれる資源を活かし、都市の活力を創造するまちづくり

- ◎産業活性化推進事業 3億4,259万円
- ◎シティプロモーション推進事業 925万円
- ◎農業生産力強化事業 1,251万円

大綱 6 みんなが主体的に学び、生きがいを持って活躍できるまちづくり

- ・小中一貫校整備事業 7,311万円
 - ・小中学校の運営 3億2,134万円
 - ◎蔵書整備事業 1億1,642万円
- 電子書籍を導入し、「電子図書館」を開設しました。
- ・(仮称)越谷市立地域スポーツセンター整備事業 2億4,148万円

新型コロナウイルス感染症関連経費：127億7,584万円

*詳しくは令和3年度主要施策の成果報告書・事業別決算説明書に掲載しており、市ホームページからご覧になれます

令和3年度 寄附の状況

市内外の多くの方からご寄附をいただきました。ありがとうございました。これらの寄附金は、快適で活力ある魅力的なふるさとづくりに活用しました。

- 寄附件数 478件(市内26件、市外452件)
 - 寄附金額 2,522万5,097円(市内927万9,782円、市外1,594万5,315円)
- *寄附金の受け付け状況について、詳しくは市ホームページをご覧ください

◆市への寄附のご案内

個人または団体からの寄附を受け付けています。個人の場合、「ふるさと納税」として税控除の適用が受けられます。

寄附の種類	内容
指定寄附	越谷しらこばと基金 市民活動への助成事業と越谷市総合振興計画の6つの施策分野から、応援したい事業を指定します
	その他の施設等 応援したい公共施設や事業を指定します(例：保健衛生のための寄附、学童保育室・保育所への寄附など)
一般寄附	用途を指定せず、市政全般に活用します

*令和4年度から、市外に本社を置く企業の皆様からの「企業版ふるさと納税」による寄附を受け付けています。詳しくは、市ホームページをご覧ください

問寄附の公表について…財政課☎963-9115、税制上の優遇措置について…市民税課☎963-9144、個人または団体からの寄附について…市民活動支援課☎963-9153、企業版ふるさと納税について…政策課☎963-9112